

○ジャパンブリーディングホースショー

2023年11月にリニューアルオープンした世田谷のJRA馬事公苑で、12月8日から10日にかけて第15回JRAジャパンブリーディングホースショーが開催されました。遠野馬は15頭が出場、各競技で活躍しました。



応援に駆け付けた「チーム遠野」

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.86

2024年1月1日

○生産馬と共に競技会出場



競技会に出場した生産者菊池政光さんと

ライーズ(父バノ 母ナコ)

今大会で自分が生産した馬に乗って競技に臨んだのが生産組合副組合長の菊池政光さんです。騎乗したのは古田慶幸さんが代表を務める riding team Regroup (茨城県つくば市)所属のライーズ(セ7)。政光さんは多忙なスケジュールの中、遠野から茨城まで練習に通ったそうです。「大きな競技会を見て、いつか自分の生産馬に騎乗して競技会に出場したいと思うようになりました。古田さんのおかげでその思いが叶いました」と政光さん。第4競技(95cm)に出場し、減点ゼロで45人中13位という結果でした。ライーズは古田さんが騎乗してメイン競技(120cm)にも出場しました。また第9競技(90cm)で山本真紀さんが騎乗した遠野馬ナイル



写真右：阿日塔さんに引かれて馬場入場する山本真紀さんとナイルゲームスターAII

(父ブリジストン 母ジエパース・サ)

第8競技(100cm)ではTokaiホースパーク所属のマリアンハタンゴアA(父ブリジストン 母コシヤル)と小栗麻梨乃選手(写真右)が優勝。そのほかの競技でも多くの遠野馬が入賞しました。今大会に出場した他の遠野馬は下記の通りです。



遠宝16、遠宝18、イルマフランス、マディライオン、ハイ・ヘガサ、アルミス(ヘガサ乗馬クラブ)/

ティ/サクラ(Stable Comfy)/コクレット(杉谷乗馬クラブ)/ヒガキ(ホストビア平塚)/フリーソ(STABLE AMIEST)/

特・エスタワル(JRA馬事公苑)/凜(riding team Regroup) 順不同

競技結果こちらから → <https://sites.google.com/view/jra-breeding-hs2023>